省エネ・コスト削減を両立する工法登場

軽量無機質材を充填したパネルや超軽量・超強度アルミダイカストの採用も進む

オフィスの必需品 OAフロアの最新動向

ＯＡフロアはオフィスビルに必要不可欠な製品である。そのため種類も豊富で、各メーカーからは多彩な製品が発売されている。軽量や強度へ特化、免震製のＯＡフロア、更には歩行感が特長であったり、直接什器をＯＡパネルに固定する方法など、ニーズによって様々だ。

日本初のフリーアクセスフロア 床材に超軽量・超強度アルミダイカスト

アーレスティ
商品営業部　部長
赤石　雄二氏

アルミニウム・ダイカスト専業メーカーのアーレスティ（東京本社：東京都中野区）は床材の材料となるアルミニウム合金地金も自社で製造しており、生産～施工まで一気通貫体制を有している所が同社の強みだ。アルミダイカストパネル"モバフロア"の特長は軽量で、加工が容易。配線や切り欠き（穴をあけること）も比較的簡単にできるのでオフィス床材としてうってつけだ。

▶最軽量クラスのモバフロア

▶耐震補強のモバグリップ

市場ニーズを調べ商品開発に取り組み、更に床材として展開しているのは「モバフロア50L」の床材パネル。

１９６２年に日本で初めてフリーアクセスフロアを開発した同社のモバフロアは改良を重ね、オフィス向け以外のコンピュータールーム、サーバールームの床材も手掛けており特にクリーンルーム向けでは日本国内75％のシェアを誇る。

商品営業部の赤石雄二部長は「当社の製品の一番の強みは、強度はもちろんですが、その軽さです。パネル1枚3・9㎏と、オフィス用としては最軽量クラス。メンテナンスもより容易になります。また、アルミダイカストはリサイクル性も高く、地球環境に優しい材質で、お客様からは好評をいただいています」と語る。

また、床下の耐震補強装置の「モバグリップ」も好調だ。水平加速度1・0Gの大地震にも耐えられる補強装置として既存のボルト脚（支持脚）に接着剤のみの簡単な施工で追加できる。旧耐震基準の建物に多く採用されている。

中国や東南アジアなど海外にも積極的に展開している同社の方針は「軽量化で世の中に貢献」という。常に「より軽く」を追求し、海外に生産拠点がある経営資源を活かしグローバルで同品質・同水準のアルミダイカストを供給できる体制を整えた同社に今後も期待したい。